

令和 8 年度

新規採択希望

県営農村振興総合整備事業

県営土地改良事業計画書

(農業用排水施設整備)

県	名	岐	阜	県
地	区	い	け	だ
事	業	岐	阜	県
主	体			

目 次

第1章	目 的	-----	1	第5章	主要工事計画	-----	18
第2章	地域及び地積	-----	1	第1節	用水施設	-----	18
第1節	地 域	-----	1		1. 貯水池	-----	18
第2節	地 積	-----	1		2. 頭首工	-----	18
第3章	現 況	-----	2		3. 揚水機	-----	18
第1節	気象及び海象	-----	2	第2節	排水施設	-----	18
	1. 一般気象	-----	2	第6章	附帯工事計画	-----	19
	2. 特殊気象	-----	2	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	-----	19
第2節	土地状況	-----	3	第8章	環境との調和への配慮	-----	19
	1. 土地、土壌	-----	3	第9章	換地計画の概要	-----	19
	2. 土地利用の状況	-----	4	第10章	事業費の総額及び内訳	-----	20
	3. 土地所有の状況	-----	4	第11章	効 用	-----	21
第3節	水利状況	-----	5	第12章	関連する事業	-----	21
	1. 用水状況	-----	5	第13章	現況・計画図面	-----	21
	2. 排水状況	-----	6				
第4節	道路現況	-----	6				
第5節	地域農業の概況	-----	7				
	1. 産業別就業人口	-----	7				
	2. 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数	-----	8				
	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	-----	8				
	4. 主要作物作付状況	-----	9				
	5. 農業の動向	-----	10				
第6節	地域環境の概況	-----	10				
第4章	一般計画	-----	11				
第1節	事業計画の要旨	-----	11				
	1. 要 旨	-----	11				
	2. 事業別面積	-----	11				
第2節	営農計画及び土地利用計画	-----	12				
	1. 営農計画の概要	-----	12				
	2. 土地利用区分	-----	12				
	3. 作付方式	-----	12				
	4. 生産計画	-----	13				
第3節	用水計画	-----	14				
	1. 計画基準年	-----	14				
	2. 計画かんがい方式	-----	14				
	3. 計画用水系統	-----	14				
	4. 計画用水量	-----	15				
	5. 水源計画	-----	16				
第4節	排水計画	-----	17				

第1章 目 的

本地区内の用排水施設は、老朽化の進行が目立ちはじめ、維持管理を伴う施設利用に苦慮する箇所が増加しており、効率的な水管理による生産体制の維持を図る上での課題となっている。今後は、組織化を進めてきた水田経営体が、地域の中心的な担い手として持続的に活躍するため、用排水施設の更新対応を図りながら、令和6年度に策定された地域計画のもと農地のさらなる集積を進めるとともに安定した経営体の確保を目指す必要がある。

以上により本事業を実施し、農業生産基盤としての農業用排水施設の更新・改良整備を図りながら、担い手による農業生産を持続した農村地域づくりを進めていく。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地 域	備 考
農業用排水施設整備	岐阜県 揖斐郡 池田町	

第2節 地積

R 7 年 8 月現在 (第2表)

事業名	現況地目	田	畑		小計	原野	山林	その他			計	備 考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用排水施設整備	池 田 町	166.7	0.3		167.0						167.0	農振農用地外を含めた面積 田：193.6ha 畑：0.8ha 計：194.4ha この事業計画書に記載の面積は、 農地台帳面積となる。
	計	166.7	0.3		167.0						167.0	

注) 1. 「地積」は土地登記簿地積(畦畔地積含む)。なお、換地計画を伴う事業は実測(図上)。単位は県営事業の場合、小数点以下四捨五入。団体営事業の場合、小数点以下2位四捨五入。

2. 「合計」欄は二以上の土地改良事業の重複面積がある場合の実面積(以下各章同じ)。

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	揖斐川	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H3年～R2年	5月～9月	10月～4月		
平均気温(°C)		23.9	9.5	15.5	参照：気象庁HP
降水量	平均(mm)	1,487.3	1,027.6	2,514.9	参照：気象庁HP
	基準年(mm)				
降水日数	平均(日)	61.4	77.5	138.9	参照：気象庁HP
	基準年(日)				
根雪期間		-	～	-	(- 日間)
無霜期間		-	～	-	(- 日間)
最多風向		北西	最大風速 (風向)	32.4 m/s (東南東)	最多風向発生時期 最大風速発生年月日 1月～12月 H30.9.4

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備 考	
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率		
揖斐川																	
観測期間	S53年～R7年																
最大日雨量	(mm)	354.0	H14.7.10	1/181	330.0	S61.6.17	1/104	258.0	H12.9.11	1/20	255.5	H24.9.18	1/19	222.0	S61.8.22	1/9	参照：気象庁HP
最大時間雨量	(mm)	96.0	H14.7.10		81.0	H20.9.2		78.5	H24.9.18		73.5	H20.8.6		70.0	R5.8.16		参照：気象庁HP
最大4時間雨量	(mm)																
最大連続雨量	(mm)			/			/			/			/			/	
最大連続干天日数	(日)																

第2節 土地状況
1. 地形、土壌

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高		備考	
		1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°以下	3°~8°	8°~15°			15°~20°	20°以上	計	最高(m)		最低(m)
		以下	~1/100	~1/20	~1/11.5	~以上				8°~10°	10°~15°	8°~15°						
農業用排水施設整備	面積 (ha)		193.6				193.6	0.8							0.8	52	19	
	比率 (%)		100				100	100							100			

注) 「畑・その他」欄は開畑に係る傾斜が8°~15°の場合8°~10°、10°~15°に区分。既耕地を対象とする事業は8°~15°。

面積は農振農用地外を含めた面積

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)				備考
	土 壤 断 面					堆積様式	母材	事 業 名							
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 グライ層	農業用排水施設整備	合計	備考				
					表土一層							下層二層	土三層		
灰色土壌 壤土マンガン型	灰色 灰色	無	無	無 糸根・点富	L	SL	SL	無	水積	非固結 水成岩	126.6		126.6	F53	
礫層土壌 砂土層床型	灰褐 灰褐	無	30cm以内 砂礫層	無 膜含	L	砂礫増	-	無	水積	非固結 水成岩	50.4		50.4	J92	
礫質土壌 壤土マンガン型	灰色 灰色	無	30~60cm以内 砂礫層	膜含 糸根・点富	CL	CL	FSL	無	水積	非固結 水成岩	17.4		17.4	K93	
計											194.4		194.4		

注) 「土壌統(区)名」欄は水田にあっては施肥改善事業における土壌区、畑・未墾地にあっては地力保全事業における土壌統。

面積は農振農用地外を含めた面積

2. 土地利用の状況

R 7 年 8 月現在 (第4表-3)

事業名	土地利用区分 市町村名	耕地						採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶畑 (ha)	その他の 果樹園 (ha)						
農業用排水 施設整備	池田町	166.7	0.3									167.0	
	計	166.7	0.3									167.0	
合計		166.7	0.3									167.0	

注) 「団体営事業の土地利用状況」は、灌漑排水、圃場整備のうち用水源、排水ポンプを設置する場合。

3. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	区分	個人有			共有			法人有			計	備考
		所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権		
農業用排水 施設整備	面積(農地台帳) (ha)	167.0									167.0	この事業計画書に記載の面積は、原則として農地台帳による面積です。
	関係戸数 (戸)	400									400	
	筆数 (筆)	1,498									1,498	
	権利関係	所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権		
	備考(受益者数)	400									400	

注) 「団体営事業」土地所有状況は、農地開発事業の場合。

第3節 水利状況

1. 用水状況

地区内の用水は、粕川一之井用水と西濃用水の2つの幹線系統が存在しており、これらの幹線、支線水路により大半の農地に用水が供給されている。

(1) 用水系統 別紙用水系統図参照

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

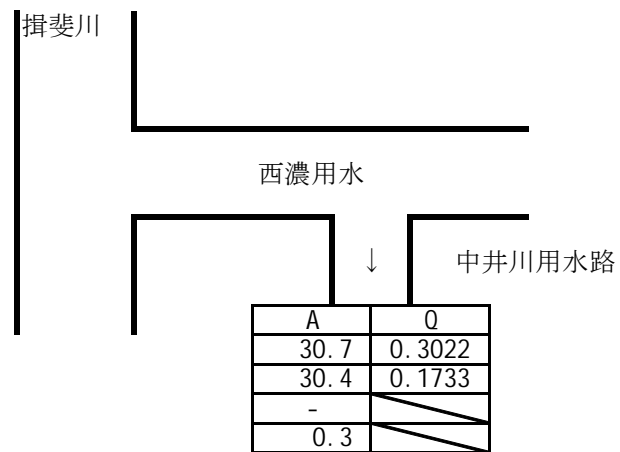
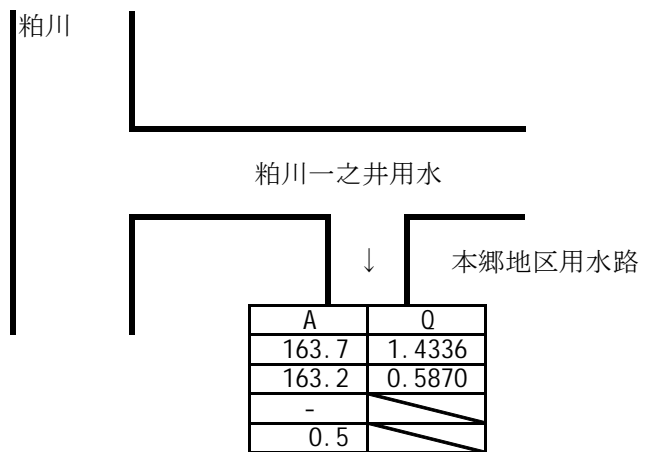
(第5表-1)

事業名	項目 施設名	か ん が い 面 積						計		水 利 権		慣 行 水 利 権		延取水量 (m ³ /s)	備 考
		500ha以上		500ha~100ha		100ha未満		(箇所)	(ha)	(箇所)	(m ³ /s)	(箇所)	(m ³ /s)		
		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)								
農業用排水施設整備	貯水池														
	井堰					2	194.4	2	194.4					1.736	
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					2	194.4	2	194.4					1.736	
合 計	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
合 計					2	194.4	2	194.4					1.736		

注) 「施設名」欄は井堰、自然取入口、貯水池、揚水機、その他に区分。「かんがい面積」欄の () 書きは面積の重複するもの。「延取水量」欄は平均取水量の合計。

面積は農振農用地外を含めた面積

現況用水系統図



A: 面積 (ha)	Q: 用水量 (m3/s)
全体	代掻期
水田	普通期
輪換畑	
畑	

面積は農振農用地外を含めた面積

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
農業用排水施設整備	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	2	194.4	コンクリート	803 m	S54～S61	老朽化	
	その他							
	計	2	194.4					
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合計		2	194.4					

注) 「施設名」欄は井堰、自然取入口、貯水池、揚水機、その他に区分。用水路の「箇所数」欄は系統数、「規模」欄は末端までの延長(単位m)。

面積は農振農用地外を含めた面積

2. 排水状況 該当なし

第4節 道路概況 該当なし

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

R 7年 8月現在 (第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 採石業 砂利採取業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸通信業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金融業 保険業 (人)	不動産業 物品賃貸業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
池田町	11,624	365	20	9	15	1,046	3,393	32	678	1,446	238	101	3,826	324	131	
計	11,624	365	20	9	15	1,046	3,393	32	678	1,446	238	101	3,826	324	131	
比率 (%)	100	3	0	0	0	9	30	0	6	12	2	1	33	3	1	

参考資料：2020国勢調査 令和2年国勢調査 就業状態等基本集計 第10-3表 男女、産業(大分類)、職業(大分類)別就業者数(15歳以上)-全国、都道府県、市区町村

2. 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数

R 7 年 8 月現在 (第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						主副業別農家数(戸)			備 考
		0.3 ha 未 満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ha 以 上	20.0 ha 以 上	自給的 農家	田	畑	樹園地	計	草地	合計	主業	準主業	副業	
池田町	651	12	83	135	35	6	11	7	6	6	6	344	1.29	0.20		1.49		1.49	23	31	239	
計	651	12	83	135	35	6	11	7	6	6	6	344	1.29	0.20		1.49		1.49	23	31	239	
比 率 (%)	100	2	13	21	5	1	2	1	1	1	1	52	87	13		100		100	8	11	81	

※農家総戸数は、経営耕地広狭別農家数の合計数となる。

参考資料：2020農林業センサス III 農業経営体(個人経営体) 1主副業別経営体数、VI総農家等 1総農家数、II農業経営体(総数) 3経営耕地面積規模別経営体数、
第71次東海農林水産統計年報 IV耕地の部 2耕地面積(市町村別)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

R 7 年 8 月現在 (第7表-3)

項目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜								備 考
	田 植 機		ト ラ ク タ ー		コ ン バ イ ン				乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採 卵 鶏		
	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
池田町	-	-	-	-	-	-	-	-	x	2	x	2	-	-	x	2	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	x	2	x	2	-	-	x	2	
100経営体当数量 (台・頭)	-	-	-	-	-	-	-	-	x		x		-	-	x		
所有経営体数の割合 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3		0.3		-	-	0.3		

※農業用機械を所有している経営体数と所有台数は、2020年農林業センサスより調査項目から削減された

参考資料：2020農林業センサス II 農業経営体(総数) 18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数

4. 主要作物作付状況

R 7 年 8 月現在 (第7表-4)

市 町 村 名	池田町				計	作付割合 (%)	備考
総耕地面積 (ha)	965				965		
区分 作物名	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)		
水 稻	398				398	41	
小 麦	246				246	26	
大 豆	263				263	27	
た ま ね ぎ	2				2	0	
計	909				909	94	

作付面積は、市町村別の面積が掲載されているもののみ記載。

参考資料：第71次 東海農林水産統計年報 IV耕地の部 2耕地面積(市町村別)、V農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2)水稻(市町村別)、(4)麦類(子実用)(市町村別)、(6)大豆(市町村別)、(18)野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量

5. 農業の動向 池田町

R 7 年 8 月現在 (第7表-5)

項目 区分	農 家		土 地		主 要 作 物		大 家 畜			動 力 農 機 具			その他	地域指定等	備 考	
	B	A (現在)	B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B				A (現在)
変化の状況 C年を100とする指数	総農家数	78	57	耕地	99	95	水稻	78	75	乳牛	x	x	動力田植機	62	-	農振計画 S48.12 都市計画 H7.4 たまねぎ S41.8 A: 令和2年 2020年 農林業センサス B: 平成27年 2015年 農林業センサス C: 平成22年 2010年 農林業センサス
	主業農家数	51	56	田	98	95	小麦	106	101	肉牛	x	x	乗用型トラクター	66	-	
	準主業農家数	43	22	畑	98	96	大豆	123	166	豚	-	-	コンバイン	65	-	
	副業的農家数	77	47	樹園地	-	-	たまねぎ	100	100	採卵鶏	x	x				
	農業就業人口	26	15							ブロイラー	-	-				
変化の理由	・高齢化、後継者不足に加え、他産業への流出発生により減少傾向を示している。担い手への集約により主業農家は増加している。		・宅地等への転用、営農リタイアにより減少している。		・水稻は、高齢化、後継者不足および農地面積の減少に伴い減少している。大豆は、担い手を中心に作付の増加に取り組んでいる。		※X: 秘匿処理			※2020年より統計調査対象から除外されたため数値無し。						

参考資料： 2020農林業センサス II 農業経営体(総数) 18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、
 III 農業経営体(個人経営体) 1主副業別経営体数、5年齢階層別の基幹的農業従事者数(仕事が主で、主に自営農業に従事した世帯員数)、VI 総農家等 1総農家数
 第67次 東海農林水産統計年報 V 耕地の部 2耕地面積(市町村別)、VI 農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2)水稻(市町村別)、(4)麦類(子実用)(市町村別)、(6)大豆(市町村別)、
 (15)野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量
 2015農林業センサス II 農業経営体 14販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、18農業用機械を所有している経営体数と所有台数、
 III 販売農家 1主副業別農家数、12年齢別農業就業人口(自営農業に主として従事した世帯員数)、V 総農家等 1総農家数及び土地持ち非農家数、
 第62次 東海農林水産統計年報 VI 耕地の部 2耕地面積(市町村別)、VII 農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2)水稻(市町村別)、(4)麦類(市町村別)、(12)大豆(市町村別)、
 (13)野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量
 2010農林業センサス II 農業経営体 12販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、16農業用機械を所有している経営体数と所有台数、
 IV 総農家等 1総農家数及び土地持ち非農家数、V 販売農家 2主副業別農家数、9年齢別農業従事者数(自営農業に従事した世帯員数)
 第57次 東海農林水産統計年報 IV 耕地の部 1耕地面積、V 農作物の部 1 22年産作付(栽培)面積、収穫量 (1)水稻、麦類、2 22年産作付(栽培)面積、収穫量 (1)大豆、
 (4)野菜 イ 指定産地の生産出荷実績

第6節 地域環境の概況

本地区は、岐阜県の西部に位置し、木曾三川によって形成された広大な濃尾平野の北西部に位置している。

西に924mの秀麗な池田山を背負い、平野部を一級河川の揖斐川、杭瀬川、東川、深町川、中川、粕川の六つの川が流れる自然環境豊かな町で、東は神戸町、南は大垣市、西は垂井町、北は揖斐川町に隣接している。山麓には池田山からの土石流によって形成された扇状地が広がり、平野部には揖斐川の扇状地が広がっている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

老朽化が進行した各用水施設に対して更新・改良整備を実施し、安定した用水供給、崩落被害発生防止により、生産性の維持・向上を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名	農業用排水施設整備														合計
	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他		小計	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他		小計	
土地利用区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)
用水改良	166.7	0.3					167.0								167.0
計	166.7	0.3					167.0								167.0

注) 1. 「事業目的」欄は用水改良、排水改良、畑地かんがい、区画整理、暗渠排水、客土、農道等の区分。

2. 「事業名」欄は圃場整備、農道整備、農地防災、農用地開発等事業計画名の区分。

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

既存の水田を活用し、水稲主体の生産体制をもとに組織的営農の展開を図りながら、生産の効率化、営農の持続を目指す。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	耕地							採草放牧地	原野	山林	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	小計 (ha)						
農業用排水施設整備	現況	166.7	0.3					167.0					167.0	
	計画	166.7	0.3					167.0					167.0	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況	166.7	0.3					167.0					167.0	
	計画	166.7	0.3					167.0					167.0	

3. 作付方式 該当なし

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	土地 利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当収量増加	
農業用排水施設整備	水田	表作	水稻	89.4	89.4	-	49	49	457	457	-	408.6	408.6	-	-	-	
			小麦	71.3	71.3	-	39	39	229	229	-	163.3	163.3	-	-	-	
			大豆	2.4	2.4	-	1	1	73	73	-	1.8	1.8	-	-	-	
			飼料用米	20.8	20.8	-	11	11	457	457	-	95.1	95.1	-	-	-	
	裏作																
	普通畑	春夏作															
		秋冬作															
計			183.9	183.9	-	100	100				668.8	668.8	-	-	-		
合計			183.9	183.9	-												

注) 「作付面積の合計」欄の () は実面積、外は延べ作付面積。(△は減を示す。)

※作付率は、地元聞き取りによる

※単位面積当収量：第67次～第71次東海農林水産統計年報 池田町 水稻、小麦、大豆 収量より算定 飼料用米は地元聞き取りによる

第3節 用水計画

- 1. 計画基準年 該当無し
- 2. 計画かんがい方式 水田 湛水かんがい

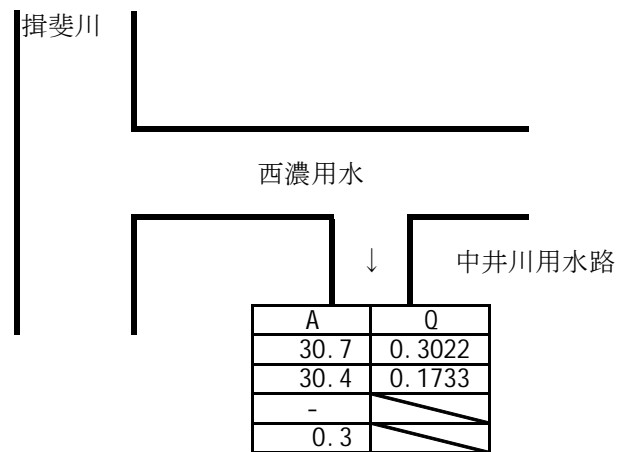
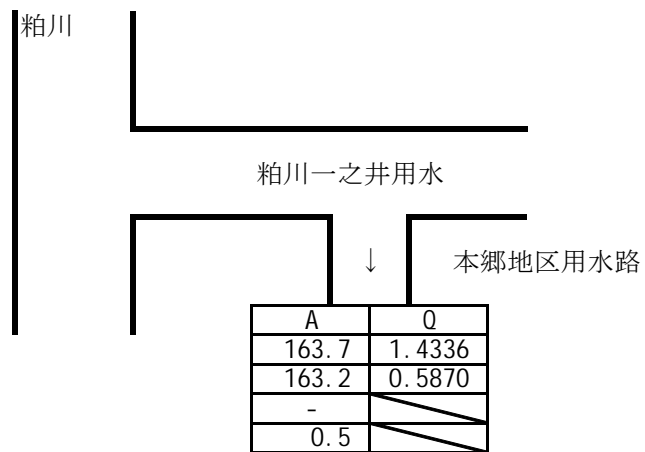
かんがい期間 (水 田)

(第10表)

栽培方式	区分	代 掻		用 水 補 給		備 考
	期間	自 ~ 至	日 数	自 ~ 至	日 数	
特 早 期		~ 月	日	~ 月	日	
早 期		月 日 ~ 月 日	日	月 日 ~ 月 日	日	
普 通 期		5 月 21 日 ~ 5 月 23 日	3 日	5 月 24 日 ~ 9 月 13 日	113 日	

- 3. 計画用水系統 (別紙計画用水系統図参照)

計画用水系統図



A: 面積 (ha)	Q: 用水量 (m3/s)
全体	代掻期
水田	普通期
輪換畑	
畑	

面積は農振農用地外を含めた面積

4. 計画用水量
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			畑地かんがい			田畑輪換						消費 水量 (m³/s)	損失 率 (%)	粗用水量			
		事業名			水田			普通畑 (樹園地)			水田かんがい			輪換畑かんがい					普通期	代播期		
		農業用 用排水 施設整 備	計	計	普通期	代播期	面積 (ha)	1日当 計画平均 かん水深	平均 間断 日数	面積 (ha)	普通期	代播期	面積 (ha)	1日当 計画平均 かん水深	平均 間断 日数	面積 (ha)			水量 (m³/s)	率 (%)	普通期	代播期
					計画 平均 単 位 用 水 量 (mm/日)	計画 代播 単 位 用 水 量 (mm/日)		計画 平均 単 位 用 水 量 (mm/日)	計画 代播 単 位 用 水 量 (mm/日)		計画 平均 単 位 用 水 量 (mm/日)	計画 代播 単 位 用 水 量 (mm/日)		計画 平均 単 位 用 水 量 (mm/日)	計画 代播 単 位 用 水 量 (mm/日)						普通期 最大	代播期 最大
本郷地区用水路	農業用水	163.7		163.7	24	150	163.2	5	5	0.5						1.2186	15	0.5870	1.4336			
中井川用水路	"	30.7		30.7	38	150	30.4	5	5	0.3						0.2569	15	0.1733	0.3022			
計		194.4		194.4			193.6			0.8						1.4755		0.7603	1.7358			

注) 1. 計画平均単位用水量、計画代播単位用水量は系統別の減水深の荷重平均値、()は最大値。
2. 計画平均かん水深は畑かん期間の1回当りの平均かん水深を平均間断日数で除した値。

面積は農振農用地外を含めた面積

(2) 営農飲雑用水 該当なし

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (m ³ /s)	有効雨量 b (m ³ /s)	純用水量 c=a-b (m ³ /s)	粗用水量 d=c/(1-α) (m ³ /s)	現況利用可能水量		不足量		水源依存量		水源種	備考 損失率 : α
					水源名	取水地点 利用 可能量 e (m ³ /s)	ほ場利用 可能量 f (m ³ /s)	純不足 水量 g=c-f (m ³ /s)	全不足 水量 h=d-e (m ³ /s)	水源名		
農業用 用排水 施設整備	1.2186	-	1.2186	1.4336	1級粕川 粕川一之井用水	1.4336	-	-	-		1.4336	15%
	0.2569	-	0.2569	0.3022	1級揖斐川 西濃用水	0.3022	-	-	-		0.3022	15%
計	1.4755	-	1.4755	1.7358		1.7358	-	-	-		1.7358	

注) 1. 「区分」欄は農業用排水、区画整理、農用地造成等の分類。及び水田補水、畑かん等に細分。

2. 純用水量、田畑面利用可能量、純不足水量には損失を含まず、全不足水量には水路損失を含む。

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該 当 な し

(イ) 井堰及び自然取入口 該 当 な し

(ウ) 揚水機 該 当 な し

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	備考
	事業名						
	農業用排水		計				
本郷地区用水路	163.7		163.7	1.4336	374	内面補修、函渠内面補修、パネル補修	
中井川用水路	30.7		30.7	0.3022	429	BF、内面補修	
計	194.4		194.4	1.7358	803		

注) 「構造」欄はコンクリート、ブロック、管水路、土水路等の分類。

面積は農振農用地外を含めた面積

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 (改良後の状況) 該当なし

第4節 排水計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

- 1. 貯水池 該当なし
- 2. 頭首工 該当なし
- 3. 揚水機 該当なし
- 4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾配	主要 構造物	備 考
	事 業 名				開 き よ	トンネル そ の 他	計				
	農業用 用排水		計								
本郷地区用水路	163.7		163.7	1.4336	365	9	374	内面補修、函渠内面補修、パネル補修			
中井川用水路	30.7		30.7	0.3022	429	-	429	BF、内面補修			
計	194.4		194.4	1.7358	794	9	803				

注) 1. 「通水量」欄は計画通水量、「構造」欄はコンクリート、ブロック、管水路、土水路の分類。
2. 基幹用水路の他、区画整理の中の小用水路も含む。

面積は農振農用地外を含めた面積

第2節 排水施設 該当なし

第6章 附帯工事計画

該 当 な し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期
 着工予定 令和 8 年度 完了予定 令和 12 年度

2. 工事の年度割予定

単位：千円

年 度	全 体	R7	R8	R9	R10	R11				
農業用排水	115,300	23,060	23,060	23,060	23,060	23,060				
割合 (%)	100	20	20	20	20	20				

第8章 環境との調和への配慮

1. 施工上の配慮
- ・下流水域への底泥流出を抑制するため、必要に応じシルトフェンスなどを設置する。
 - ・締め切り内に残存した魚類等の生物が確認される場合は、必要に応じて避難を実施する。
2. 田園環境整備マスタープランとの整合性
- 事業実施に際しては、田園環境整備マスタープランにおける環境配慮の方向性に則して行うものとし、計画段階からマスタープラン内容を反映させ、環境に配慮した事業を行う。

第9章 換地計画の概要

該 当 な し

第11章 効 用

(第27表)

区 分 効果項目	農業用排水施設整備				
	年 総 効 果 額 (千円)	年 総 増 加 所 得 額 (千円)	年 総 効 果 額 (千円)	年 総 増 加 所 得 額 (千円)	
食料の安定供給の確保に関する効果	61,514	65,976			
農業の持続的発展に関する効果	-	-			
農村の振興に関する効果	-	-			
多面的機能の発揮に関する効果	1,102	-			
そ の 他 効 果	14,272	-			
計	76,888	65,976			令和7年度単価
総 費 用	1,334,709				
総 便 益 額	1,592,582				
総 費 用 総 便 益 比	1.19				
総 所 得 償 還 率	7.2				
増 加 所 得 償 還 率	1.1				

第12章 関連する事業 該当なし

第13章 現況・計画図面

別紙による